

会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称
丹波篠山市立城東保育園・かやのみ幼稚園あり方検討委員会（第6回）
- 2 開催日時
令和7年10月31日（金）19時00分から20時00分まで
- 3 開催場所
丹波篠山市役所 2-301・2-302会議室
- 4 会議に出席した者の氏名
委員長 酒井隆明
副委員長 丹後政俊、金崎美和
委員 山本寿幸、倉康隆、森田新治、山田俊朗、山内綾美、松本匠平、津田深由希、
谷口裕美、荒木美景、出口陽正、倉眞智子
オブザーバー 向井千尋
事務局 丹波篠山市教育委員会事務局こども未来部長 田中正典、子育て企画課長
山鳥有史、子育て企画係長 杉原正志、子育て企画係主事 今西隆亮、保育
教育課長 山田康弘、園管理係長 岡村茂生、市民生活部地域振興課長（城
東地区振興担当） 小倉元一、市民安全課長 安井聡博、日本チバガイギー
株式会社篠山工場長 村上哲哉
- 5 傍聴人の数
0名
- 6 議題及び会議の公開・非公開の別
全て公開
- 7 非公開の理由
該当なし
- 8 会議資料の名称
第6回丹波篠山市立城東保育園・かやのみ幼稚園あり方検討委員会資料

9 会議次第

- (1) 開会
- (2) 委嘱状の交付
- (3) 委員長あいさつ
- (4) 報告事項
 - ①これまでの経緯経過について
 - ②日本チバガイギー株式会社機能拡張工事における経緯について
 - ③小沼通二氏による放射性医薬品の見解
 - ④放射性医薬品製造施設周辺の安全確保及び環境保全に関する協定書(案)について
 - ⑤日本チバガイギー株式会社篠山工場における放射性医薬品の製造と安全管理について
- (5) 協議事項
 - ①(仮称)城東認定こども園の建設について
 - ②その他
- (6) その他
- (7) 次回の開催日
- (8) 閉会

10 協議の概要

(委員長)

報告事項①～⑤について何か意見はあるか。

(委員 A)

7月3日の説明会で出た意見を踏まえて日本チバガイギーとしてどのように検討してきたかをもう少し詳しく教えてほしい。

(事務局)

常に東京本社も含め議論を重ねてきている。さらに、皆様にお配りする資料についても、工場に詳しくない者に資料を見ていただきながらどのようにしたら分かりやすいか、また、お医者様の意見も加えながら適宜改善を行っている。

(委員 A)

協定書(案)については、日置地区の自治会長宛、そして、市民の方にも意見を聞くと言っていたがどのような状況か。

(委員長)

協定書(案)は、日置地区の全自治会長、そして、放射性について心配だとおっしゃっていただいた方に届けており、今現在意見は出てきていない。

(委員 A)

承知した。

(委員長)

この件があり、現在工事の発注を止めている段階であり、念のため、この検討委員会で皆様の意見を聞きながら進めていきたいと思っているが、あまり時間をかけすぎると令和9年の開園が間に合わなくなるのではないかという報告がある。予定通り令和9年4月に開園をしようとするので工事の発注はいつしなければいけないのか事務局に説明願う。

(事務局)

工事の入札を行い仮契約をしたのち、議会に承認をいただいて本契約となる。この承認が1月中にいただければ令和9年4月1日開園に何とか間に合うという見込みを立てている。

(委員長)

来年の1月の議会で工事契約の承認を得なければ間に合わないということは、今年中には入札をして、契約の相手方が決まっていなければいけない。速やかに工事の発注をしなければいけないが、今日この場で結論をすぐに出すのは難しいので協定書(案)についての意見聴取が11月21日なのでそこに合わせてもう一度この検討委員会を開催させていただき、そこで結論を出せればと思うが、この日程で間に合うか。

(事務局)

何とかというところである。

(委員B)

反対意見の方にどれだけ納得してもらえるか、と思う。

(委員長)

反対意見の方は、具体的な根拠があるわけではない。放射性物質イコール危ないと。しかしながら、具体的な根拠がないからと言って無視して進めるわけではなく丁寧に説明や専門家の意見を聞きながら進めるというのが今していることである。9月の説明会でも小沼先生や上紺屋先生にお越しいただいて安全性は高いと言っていたが、そういった専門家の先生に対して質問ではなく工場の進め方や市はどうだといった質問ばかりであった。

(委員B)

そうなるといくら説明しても納得はしてもらえない。漠然とした不安があるということである。

(委員長)

今回は、そういった漠然と不安のある場所にわざわざ子ども園を建てなくてもいいのではないか、といったご意見である。

(委員C)

それを言い出したら城東小学校なども移転しないといけなくなる。

(委員長)

全国の病院などでもこういったものは取り扱っている。県下にも300ほどこのような施設

がある。

(委員 A)

仮に入札が延びていった場合は工事費が上がるのか。1月に議会の承認をもらうスケジュールで行けば予算内に収まるのか。

(事務局)

そのとおりである。

(委員 A)

仮に2月や3月であれば予算内に収まるのか。

(事務局)

その時の状況にならなければ分からない。

(委員長)

委員の中には保護者の方もおられますがいかがか。

(委員 D)

協定書を結ばれるということなので、企業と行政とでしっかり安全対策に取り組んでいただければと思う。ただ、不安の声があるということも忘れないで行政として向き合っていたらと思う。当初のところというところ、両園とも老朽化が進んでいたり、城東保育園は浸水想定区域に入っていたりということがあって、今の建設地に決まったと思う。そういった経緯を考えるとあまり先延ばしにするのはよくないと思う。また、人手の関係ではあると思うが両園が統合しこども園になればもう少しキャパが増えて子どもを預けて働ける保護者が増えるのではないかと思うので開園が遅れるというのは保護者として痛いと思う。

(委員 E)

放射線のことはよく分かっていないが漠然とした不安があるのは正直なところである。説明も非常に丁寧に説明していただいたと思うが、もっと具体的にこういった場合はこう対処するといった説明があれば少しずつ安心していけるのかなと思う。

(委員 F)

最初に聞いたときは正直不安だった。しかし、市も何回も説明会の案内を送っていただいたりして不安に寄り添っていただいているなというのは感じていた。今日の説明もとても分かりやすく、不安な気持ちがとても減った。他にも不安に思っている保護者の方はいると思うので皆さんに知っていただきたい。説明会も行きたかったが、子どもを預けて夜に出るといのは難しく行けなかった。行けなかった方にもホームページなど何かで見れるようななにか対策をしていただけたらと思う。認定こども園ができることは嬉しいし楽しみにしている。

(委員長)

説明会や今日の説明も全員が行けるわけではないので何かしら伝える方法を検討する。

(委員 G)

私は園の老朽化を見てきて声を上げた側なので、良い方向に向かっていけばと思っている。

(委員 H)

放射性と聞くと怖い、恐ろしいというイメージはあると思う。さらに子どもは外で遊び、色んなものを触るので不安だというのはよくわかる。ただ、今日のチバガイギーの説明に加えて第三者の専門家のお二人が安全性についてきっちり説明していただいている。保護者の意見を踏まえながら遅れることなく進めていくことができればと思っている。

(委員長)

遅れることなく開園をしてほしい。不安に思っておられる方に寄り添ってほしい。また、説明会に行けなかった方にも説明が分かるようにしてほしいという意見をいただいたのでそれに基づいて進めていきたいと思う。また、現在協定書(案)の意見聴取を行っている途中なのでその状況を見ながら、そして、今日の話一度持ち帰っていただいてもう一度この検討委員会を開催したいと思うがよいか。

(全委員)

異議なし。

(委員長)

令和7年11月21日(金)19時からでよいか。

(全委員)

異議なし。